



平成16年10月29日

各位

本社所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番9号
 会社名 株式会社T & Dホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 宮戸 直輝
 (コード番号: 8795 東証・大証第一部)
 問合せ先 総務部課長(広報担当) 熊谷
 電話番号 03-3231-8685

平成17年3月期中間期業績予想の修正及び

平成17年3月期中間期末の有価証券評価損(太陽生命保険株式会社)のお知らせ

当社の平成17年3月期中間期業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。また、当社の連結子会社である太陽生命保険株式会社における平成17年3月期中間期末の有価証券評価損の発生についても、あわせてお知らせいたします。

なお、平成17年3月期通期業績予想については、現時点では修正はありませんが、今後必要があれば速やかに公表いたします。

記

1. 平成17年3月期中間期業績予想の修正(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

(1) 当社(連結)

(単位: 億円)

	前回発表予想(A) (平成16年5月19日)	今回修正予想(B)	増減額(B-A)	増減率(%)
経常収益	11,840	12,150	310	2.6
経常利益	420	580	160	38.1
中間純利益	280	260	20	7.1

経常利益

当初予定に比べ、利息・配当金等収入が約100億円増加すること及び個人保険の死亡保険金が約70億円減少することにより、160億円の上方修正となる見込みです。

中間純利益

経常利益が増加した一方、当初予定に比べ契約者配当準備金繰入額が増加することによる約30億円の減少や、特殊要因として過年度に有税処理した有価証券・不動産に係る繰延税金資産の回収スケジュールリング可能性の判定基準をより厳格化したことに伴う取崩しによる約90億円の減少があるため、前回発表予想から20億円の減少となる見込みです。

その他

平成 16 年 8 月 12 日付有価証券届出書を提出しました、太陽生命保険株式会社及び大同生命保険株式会社が保有する当社株式の売出しに伴う親会社株式売却益は、両社の損益計算書において特別利益にそれぞれ 58 億円計上されますが、当社の連結損益計算書には計上されず、連結貸借対照表において資本剰余金に 74 億円（税引後）が合算して計上されます。

（参考）

生命保険会社 3 社（単体）の平成 17 年 3 月期中間期業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

■ 太陽生命保険株式会社

（単位：億円）

	前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 19 日）	今回修正予想（B）	増減額（B - A）	増減率（%）
経常収益	5,870	5,990	120	2.0
経常利益	120	150	30	25.0
うち基礎利益	140	190	50	35.7
中間純利益	30	90	60	200.0

経常利益（うち基礎利益）

当初予定に比べ、利息・配当金等収入が約 30 億円増加することにより、30 億円（うち基礎利益が 50 億円）の上方修正となる見込みです。

中間純利益

経常利益の増加に加え、特殊要因として特別利益に親会社株式売却益 58 億円を計上することによる増加もあったため、60 億円の上方修正となる見込みです。

■ 大同生命保険株式会社

（単位：億円）

	前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 19 日）	今回修正予想（B）	増減額（B - A）	増減率（%）
経常収益	5,410	5,570	160	3.0
経常利益	330	470	140	42.4
うち基礎利益	390	520	130	33.3
中間純利益	130	130	0	0.0

経常利益（うち基礎利益）

当初予定に比べ、利息・配当金等収入が約 60 億円増加すること及び個人保険の死亡保険金が約 70 億円減少することにより、140 億円（うち基礎利益が 130 億円）の上方修正となる見込みです。

中間純利益

経常利益の増加に加え、特殊要因として特別利益に親会社株式売却益 58 億円を計上することによる増加があったものの、一方で運用収支の改善にともない当初予定に比べ契約者配当準備金繰入額が増加することによる約 30 億円の減少や、特殊要因として過年度に有税処理した有価証券・不動産に係る繰延税金資産の回収スケジュールリング可能性の判定基準をより厳格化したことに伴う取崩しによる約 90 億円の減少があるため、前回発表予想どおりとなる見込みです。

■ T & D フィナンシャル生命保険株式会社

(単位: 億円)

	前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 19 日)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	増減率 (%)
経常収益	7 0 0	6 0 0	1 0 0	1 4 . 3
経常利益	2 0	2 0	0	0 . 0
うち基礎利益	2 0	2 0	0	0 . 0
中間純利益	1 3 0	1 3 0	0	0 . 0

経常収益

当初予定に比べ、保険料等収入が約 70 億円減少することにより、100 億円の下方修正となる見込みです。

経常利益 (うち基礎利益)

経常収益が減少したものの、当初予定に比べ、責任準備金等繰入額が約 130 億円減少するため、前回発表予想どおりとなる見込みです。

中間純利益

連結納税導入の効果約 160 億円を当中間期に計上することにより、前回発表予想どおりとなる見込みです。

(2) 当社 (単体)

公表済みの平成 17 年 3 月期中間期業績予想に修正はありません。また、配当金についても修正はありません。

2. 平成 17 年 3 月期中間期末の有価証券評価損 (太陽生命保険株式会社)

太陽生命保険株式会社の、平成 16 年 9 月末におけるその他有価証券に係る評価損 (減損処理額) を算出した結果、次のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

なお、当社グループでは、資産の健全性重視の観点から、その他有価証券のうち時価のある国内株式及び外国株式等については、時価の下落率が取得原価に比べて 30% 以上となっているものについて減損処理を行うこととしており、太陽生命保険株式会社についても、当連結会計年度より当該基準を適用しています。

■ 太陽生命保険株式会社

(A) 平成 17 年 3 月期中間期末の有価証券評価損計上額	2 5 億円
(B) 平成 16 年 3 月期の純資産の額 (A / B × 1 0 0)	2 , 2 5 2 億円 1 . 1 (%)
(C) 平成 16 年 3 月期の経常利益額 (A / C × 1 0 0)	3 1 8 億円 8 . 1 (%)
(D) 平成 16 年 3 月期の当期純利益額 (A / D × 1 0 0)	7 0 億円 3 6 . 8 (%)

以上